

科目No.	254	科目名	生物総合評価管理学特論2		サブネーム	薬用植物、生薬、麻薬のリスク管理	
連携機関		レベル	基礎	講義日時	水曜日 18:30~20:00	講義場所	お茶の水女子大学
科目概要	薬用植物と植物の安全性について解説する。伝統医療で利用されてきた薬用植物を解説する。又、日本薬局方の改正内容の紹介する。また、植物の形態と分布も紹介する。WHOの伝統薬に関する指針を紹介する。生薬と健康食品のGMPを紹介する。						

サブタイトル	No.	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
薬用植物(生薬)	1	薬用植物と生薬について	薬用植物の伝承は、文字のある国と文字のない国では違いがある。前者はエジプト・メソポタミア文明からギリシャ・ローマ文明を経由して西洋・アラブ医学に発展し、インド文明はアユルベーダ医学に、中国文明は漢方医学(中医学)に発展した。後者のマヤ・インカ文明では薬物名だけが民間薬として残っている。こうした歴史的背景と現状を紹介する。	4月16日	共通講義棟 1号館102	佐竹元吉	お茶の水女子大学 生活環境研究センター
	2	アマゾン・アンデスの薬用植物	約30,000種の薬用植物のうち、宝庫アマゾンにはその16%の約5,000種があると言われている。アンデスにも変化に富み、インカ文明の薬用植物が知られている。これらの薬用植物について解説する。	4月23日			
	3	中国の薬用植物	方薬のふるさと中国の伝統医療は、2000年前ぐらいに医学として完成された。薬物は365種類で上薬、中薬、下薬に区分され、滋養強壯的なものから毒性が高いものまで網羅しており、現在でも広く使われていることを解説する。	4月30日			
	4	日本の薬用植物	漢方薬ではユリの球根、ボタンの根皮、シャクヤクの根、キキョウの根、モモとアンズの種類(仁)、ウメの果実、カキの蒂(ヘタ)、ミカンの果皮等がある。民間薬ではお腹が痛いときにはセンブリ、下痢の時にはゲンノショウコ、便秘の時にはドクダミが使用される。こうした現状について解説する。	5月7日		中根孝久	昭和薬科大学
植物の形態	5	花の形、果実の形、地下部(根や根茎)の形、	リンゴとイチゴは偽果で花托を食べているが、ミカンが真果で果実を食べている。野菜や果物を使って果実を解説するランの花の構造は昆虫と関連して進化している。キク科には大きなヒマワリから小さなヨモギがある。形態学の立場で花を解説する。食用にしている大根は太く長いものに対して、カブは短く膨らんでいるねです。	5月14日		紺野勝弘	富山大学和漢医薬学総合研究所
植物の分布	6	世界の植物区系	世界の植物は大きく6つに区分できます。これらの特徴と区分を紹介します。ヒマラヤと日本の植物は類似しています。	5月21日		牧野由紀子	東京大学薬学部
	7	日本の植物分布	日本の植物はどのように区分できるのか。北海道と本州の植物の違い、沖縄と屋久島の比較。高山植物や海岸植物。日本の高山植物の宝庫は白馬岳、早池峰山、至仏岳、北岳、大雪山、アボイ岳である。これらの高山植物を紹介する。	5月28日		佐竹元吉	お茶の水女子大学 生活環境研究センター
麻薬の話	8	麻薬関連の植物を紹介	ケシ、大麻、覚せい剤、MDMAなどに関して法律面を紹介する。	6月4日		指田 豊	東京薬科大学
タバコの話	9	タバコの歴史と植物や成分	タバコの発見とコロンブス、タバコの原因はどこにあるのか。タバコの煙の成分。禁煙運動。	6月11日			
植物による中毒	10	植物の成分と毒性について	薬用植物の毒成分、漢方薬の副作用、トリカブトの生薬(附子)の毒性成分アコニチン類、ワラビの発癌物質の正体、カワカワ製品による肝臓障害、発癌物質アリストロキア酸を含む植物、コンフリーなど、生薬・薬用植物の安全性について解説する。	6月18日		佐竹元吉	お茶の水女子大学 生活環境研究センター
食薬区分	11	食品と薬品の違い	アメリカでは1994年に病気になるための食べ物を栄養補助食品と名付けて、食品と薬品との新しい定義を作った。栄養補助食品はビタミン、ミネラル、ハーブ(薬用植物)が対象となっている。日本では成分から見た安全性で食品と薬品の二つの区分に分けられている。こうした現状を解説する。	6月25日		高野 昭人	昭和薬科大学
サプリメントの今後	12	サプリメントで何だろう	ダイエッターサプリメントとが1994年にアメリカで法律化されてから世界中がこの扱いに苦慮してきた。これらの動きを紹介する。	7月2日		佐竹元吉	お茶の水女子大学 生活環境研究センター
日本の薬局方	13	薬局方の改正と規格の出来るまで	明治時代、日本の薬局方はオランダやドイツの薬局方を参考にして作られた。現在15改正から16改正へと作業が進んでいる。これらの動きを紹介する。	7月9日			
WHOの伝統医療	14	伝統医療に関する30年の動き	WHOのガイドラインの紹介	7月16日			
国際調和と薬用植物	15	漢字文化圏の薬用植物の調和	漢字文化圏の薬用植物を使っている、日本、中国、韓国、香港、ベトナム、シンガポールなどの薬局方に関する調和の会議がある。名前はFHHという。この創立から現在までの動きを紹介する。この会に香港代表のチャン女史がWHOのトップになっている。	7月23日			

2008/3/13 教室の記載。2008/4/17 講義No.14(7月16日)講義概要の変更。2008/4/30 講義No.4(5月7日)及び講義No.5(5月14日)講師の変更。2008/5/15 講義No.6(5月21日)講師の変更。2008/6/4 講義No.9(6月11日)講師の変更。2008/06/19 講義No.11(6月25日)講師の変更。